

2005年 8月24日 12時32分

NO. 2127 P. 2/5

質 問 書

○質問書に関するお問い合わせ及びご回答 (FAXまたはe-mail) は下記までお願いいたします。

DPI (障害者インターナショナル) 北海道ブロック会議

〒060-0004 札幌市中央区北4条西12丁目1-55 ほくろうビル5F

TEL: 011-219-5687 FAX: 011-219-5688

e-mail: info_hokkaido@dpi-japan.org <http://www.dpi-japan.org/hokkaido/>

1. 今回、廃案となった「障害者自立支援法案」を厚生労働省は、臨時国会で、再提案すると
明言していますが、採択の際にあなたは、賛成しますか、反対しますか。

- ① 賛成する
- ② 反対する
- ③ 修正が行われれば賛成する →その場合の修正内容

何れも同法案による障害者の負担が過重となり、実質的なサービスの制約が生じることが重要であり、少なくとも支援制度を含む現行サービスの水準の低下を招く法案には断固反対です。

2. 「障害者自立支援法案」の最大の焦点となった「応益負担 (定率負担)」について、あなたはどのようなお考えですか

- ① 導入すべきである・導入はやむを得ない
- ② 導入には反対
- ③ その他 →その内容

障害者が、それぞれの地域で自立した生活をするために、応益負担の導入には反対です。

3. 自立支援法案では、障害程度区分の判定により、介護やグループホーム、日中活動の場など、利用できるサービスの種類や量が制約される可能性があります。その点についてどのようなお考えですか

- ① 財源不足であるため制約するべきである・制約はやむを得ない
- ② 制約を行うことには反対
- ③ その他 →その内容、特に考えておられる内容

障害者の多様な特性とその必要性をふまえ、障害者団体との合意形成が必要

2005年 8月24日 12時32分

NO. 2127 P. 3/5

4 自立支援法案では、精神障害者通院医療費公費負担制度、更生医療及び育成医療への利用者負担の導入について、あなたはどのようなお考えですか

- ① 導入すべきである・導入はやむを得ない
- ② 導入には反対
- ③ その他 →その内容

精神障害者の福祉の後退を招く恐れがある。

5. 小泉首相は来年度予算の概算要求基準について、社会保障費を2200億円圧縮するよう財務大臣に指示を出しました。あなたは社会保障費の圧縮について、どのようにお考えですか。また、社会保障の財源をどこに求めるべきとお考えですか。

- ① 構造改革路線に基づき圧縮すべきである・圧縮はやむを得ない
- ② 増額すべきである
- ③ その他 →その内容

現行の障害者に対する施策は不十分であり、障害福祉関係予算の増額は不可欠。

社会保障費の財源として、今考えているもの

大型公共事業を削減し、ムダをなくして社会保障費用の国庫負担を待つことである

ご協力、どうもありがとうございました。

氏名

小平 忠正

選挙区

北海道 10区

所属

民主党